

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童療育支援事業所 ともに		
○保護者評価実施期間	令和8年2月 15日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和8年2月 15日		～ 令和8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団療育により異年齢のお子さんと交流することでできないと思っていたことを「やりたい」と感じるようになり成長につながっている また各々が自分の役割を考えるにあたって得意や不得意を見つけることができる	・お子さんが興味関心を持てるような活動の提案	・定期的に同じ内容の活動を行うことで前回と比べてどうだったかをお子さん本人と振り返ることで成長への気付きや次回への課題が見えやすい
2	・反復する活動内容によりできなかったことや苦手ができるようになったりできていることを得意にし達成感やモチベーションアップに繋がっている	・活動内容を反復し状況に応じて職員の支援の頻度を調整している。前回よりもできたことは言葉にして実感が持てるよう取り組んでいる またお子さん自身が目標を設定し実行することでよりモチベーションのアップにもつながっている	・活動内容は違っても作業工程の中で同じ作業を入れるなどする ・活動のあとは振り返りをい次回に繋がられるよう支援するR
3	・多様な活動の提案ができています	・スタッフやお子さんからの意見は可能な限り取り入れ活動プログラムの提案にいかせている。自分の希望が叶うという実感からモチベーションアップに繋がっている。	・提案を出し合う中で各自が責任を持って取り組めるように促す。ヘルプを出しやすいように体制を整えどうすればしたいことの実現が可能かを周りが一緒に考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・セラピストなど専門職はいないのでここに特化しているという売りはない	・セラピストなど専門職を入れた療育は行っていない。また運動や学習に力を入れているなどの強みもないので「ここを改善したい」など明確な希望のあるお子さんやご家族には向かない	・今後の療育の中で必要と感じる場面があれば職員の補充や支援内容の検討を行う
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	
------	--

公表日 8年 3月 13日

利用児童数 6人

回収数 4人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				・事業所内は広くはないが活動によって空間がありわかりやすい	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1	・適切だと思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				・段差はあるが小さく概ねバリアフリーになっている	・文字の読めないお子様にもわかりやすいイラストと文字の両方で掲示しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				・築年数が遠くきれいで ・学習 遊び など空間がきちっと分けられていてわかりやすい ・庭があり遊びもできるので子どもは喜んで	・営業終了後の掃除では物やおもちゃの消毒を行っています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				・支援内容を毎回アプリで把握できて良い ・子どもの特性や性格を理解してくれていると感じている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1	・概ね沿っていると思う ・支援プログラムがどこで見られるかわからない	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				・できていると思う	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				・できていると感じる	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3			1	・異年齢児の関わりも多くできることが増えていると感じている	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	2		1	・季節に沿った制作や外出活動があり子どもも喜んでいる ・イベントなどは参加できないことが多くもって保育園児の利用時間にもイベント活動を増やしてほしい	・外出などの活動イベントは長期休み期間内に行うことが多く日中の開催になってしまうので希望幼児が参加しやすいようお知らせし利用時間の調整など案内していく
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1		2	・活動やイベントはあるらしいが自分の子供は参加できていない ・地域の子供向けのイベントに連れて行ってくれたことがある	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			3	・チラシの配布などは過去にあったが研修会は知らない	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3			1	・お迎えのときなどに話すことができる	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				・面談は行けていないが困りごとは話しやすい ・職員さんと直接ではないがアプリでやり取りができる	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				・そう思う	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			1	・年に何度か家族も参加できる大きなイベントが有り楽しみにしている	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1	・対応してくれている		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3			1	・電話対応やアプリのチャット機能などで話がしやすい		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	・ホームページはあまり見ていない ・毎月お便りを楽しみにしている ・アプリのお知らせで活動やイベントのお知らせがありわかりやすい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2	・定期的な訓練があることはお知らせがあるが参加したことはない	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2	・訓練に参加できていない	・なるべく多くの幼児さんも参加できるように調整したい
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	・そう思う	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				・以前ぶつけた時に説明があった。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4				・通所できている	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4				・通所の曜日を覚えるほど楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型児童療育支援事業所 ともに		公表日		8年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	適切なスペースが確保されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	有資格者を適切に配置できている パート職員も増え助かっている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	玄関段差はあるが車椅子でも利用可能な構造になっている 室内はバリアフリー化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日掃除の後次亜塩素酸水での消毒を行ない清潔に保つことを心がけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	なっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	何でも全員に共有できるツールがある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年行なっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的な職員会での意見交換やその他にも意見があれば各問題毎に検討している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	関係各所からのご意見はその都度検討し業務改善につなげる努力はしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	参加可能な研修は全て参加している 研修後は報告書を提出し全職員に共有できる	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	できている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	各児童の意見も多く取り入れている 児発管が指導員の話し取り入れて作成できている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	全員の意見が反映される体制をとっている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	HUGでいつでも確認ができるまた職員会などで意識付けの機会も設けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	できている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	設定していると感じる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	各自が役割と意識を持ちできている また各々の意見も出し合っている 計画から実施まで共有しながら行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	長期休みには活動に空きが来ないように色々な工夫をしている また平時には季節行事なども必ず取り入れる工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	必要なわけ個別支援と集団支援を組み合わせることが出来ている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	シフト制のため全員が集まることは難しいがラインなども活用し法人内全職員が共有できるように努めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	シフト制のため全員が集まることは難しいがラインなども活用し法人内全職員が共有できるように努めている	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必ず記録をとり全職員が共通理解の下業務改善等に努めている		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	モニタリング時期以外にも必要時には見直しをしている		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児発管もしくは施設長が参加している		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要時には連携しながら支援している		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	年長児童は放課後等デイサービスへの以降も進んでおり担当者会議や支援会を通し情報共有がなされている。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	必要に応じて情報共有を行えるよう調整中		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)			相談支援とは連携が取れている		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	8	0	地域の児童が遊びに来ることできる環境設定にしている 地域の公園への外出の際には交流ができるよう図っている		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	常に意識し取り組んでいる		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	外部研修の案内は不定期で行なっているが事業所内部の研修の機会はない		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	必要時に行なっている		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	家族だけでなく児童の意見も取り入れることを意識している		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	作成毎に得ている		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	利用日にかかわらず対応する体制をとっている		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	家族参加のイベントを設け機会を提供している		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	いつでも対応できる体制を整備している		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的に発信しており楽しみにしてくれている家庭もある		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	全職員が共通理解の下留意している		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	全職員が共通理解の下配慮している		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	案内はしているが参加の実績はない 地域の児童が気軽に遊びに来ることのできる体制を取っている		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	毎回工夫した訓練を行なっている	
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	行なっている	
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	利用毎に密に状況確認をしている	
		48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食事提供はしていないがおやつや調理イベントでは配慮している	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	セコムや車両置き去り防止装置など人的要素以外も取り入れ可能な取り組みは行なっている		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	周知は十分でないかもしれないが可能な限りの体制は取っている		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	全職員で共有し職員会議での検討会をしている		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎月委員会を開催し共通認識で対応するよう努めている		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	毎月委員会を開催し共通認識で対応するよう努めている		